

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる
福祉のまちづくり」
ふくしだより

郡山地域校区社会福祉協議会の皆様におかれましては、「地域に住む誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指して、見守り活動や子育てサロンの開催など、多岐にわたって活動に取り組んでおられますこと深く敬意を表します。また、市社会福祉協議会の業務の推進につきまして格段のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

私は、本年6月に着任しましたが、郡山地域においても少子高齢化の進行や人口減少、ライフスタイルや価値観の多様化、住民相互のつながりの希薄化など、地域を取り巻く環境は変化してきており、今後、地域の福祉課題はますます深刻化するのではないかと考えます。

私たち市社会福祉協議会は皆様方と連携して、地域の実情に応じた活動が展開され地域の安心ネットの推進体制による「地域共生社会」の実現に向けて、支援体制づくり等に積極的に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

結びに、郡山地域校区社会福祉協議会の活動を通じて、地域に温かい福祉の輪が広がり、誰もが安心して暮らせるまちづくりが推進されることをご期待申し上げます。

私は、本年6月に着任しましたが、郡山地域における実情に応じた活動が展開され地域の安心ネットの推進体制による「地域共生社会」の実現に向けて、支援体制づくり等に積極的に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

結びに、郡山地域校区社会福祉協議会の活動を通じて、地域に温かい福祉の輪が広がり、誰もが安心して暮らせるまちづくりが推進されることをご期待申し上げます。

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる
福祉のまちづくり」
ふくしだより

市社会福祉協議会 郡山支部長
市高齢者福祉センター 郡山所長
田中 公弘



☆ みんなで見守り安心して暮らせる地域に ☆

定期総会

令和3年度総会は、昨年度と同様に新型コロナ感染対策の観点から書面での採決を行いました。
総会には、5議案が提案され、全ての議案が承認されました。

郡山地域校区社会福祉協議会は、令和3年5月8日に理事会を開催、令和2年度事業報告、決算報告等や令和3年度事業計画及び予算を審議しました。

令和2年度会計監査報告につきましては、令和3年4月13日に比良薩男監事及び福永大吾監事が監査を行い「適正に事務処理がなされている」旨の報告書を提出されました。

令和3年度定期総会開催は、取扱いについて協議し、新型コロナの感染が心配されることから福祉委員全員に議案を送付、書面で採決を行うことにいたしました。

採決の結果は、委員72人中、全議案について承認65人、未返送7人でした。
以上の結果、議案5件は、過半数以上の承認があり決定されましたので、平成3年度事業計画及び予算に沿って、支え合う住みよいまちづくりに向け事業を進めていきます。

本年度も皆様のご理解とご協力をお願いします。

以下事業計画、予算の概要については、次のとおりです。

『会費』 年会費 1世帯 150円

令和元年度から鹿児島市は、鹿児島市社会福祉協議会へ各校区社会福祉協議会負担金相当額を直接助成することになりました。本会から市社会福祉協議会へ負担金を納めるシステムが変更されたことで、会費は、元年度から200円を150円に減額されました。

令和3年度事業計画

(令和3年度の主な取組み)

◎見守り活動は、これまでと同様に、単位自治会ごとに活動をお願いしています。

見守り活動者の研修会及び意見交換会を年2回実施します。

◎「安心カード」配布の再点検。郡山地域内の全世帯が対象です。

◎新生児祝いは、新生児世帯に記念品を贈ります。10月末と3月末に2回に分けて贈呈します。

(対象者 郡山地域に住所を有する世帯)

◎子育てサロン事業は、0歳児から3歳児までの子どもと育児を行っている方を対象に、交流、おやつ作り、ふれあい遊び、育児相談等を年9回行い、子育てを支援します。

◎満80歳を迎える方に敬老記念品を贈呈又70歳以上の人々暮らしの方を対象に、年4回食事会(健康相談、ゲームなど)を行います。

◎地域のバス停や公園などに木製ベンチを設置する自治会に寄贈します。

令和3年度歳入歳出予算

令和3年度歳入歳出予算は、153万6,000円 岁入の主なものは、会員会費34万5,000円、市社会福祉協議会補助金41万1,440円、寄付金15万円、繰越金62万8,645円、歳出については、主に事業費102万円、事務費38万5,000円です。

みんなでコロナ禍を乗り越えましょう!!

郡山地域校区社会福祉協議会 会長 池山 泰正

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大で、皆様には日常生活や様々な活動で大変ご苦労されておられることと思います。

特に、高齢者にとって長引く自粛生活で体を動かす機会が少なくなり体力の低下や免疫力の低下などにより様々な弊害が出るのではないかと心配です。

コロナの収束はまだ先が見えませんが、みんなでこの苦境を乗り越え一日も早く日常の生活に戻ってくるのを願わざにはおられません。

郡山地域校区社協でも各種団体の協力もいただきながら“みんなで支え合う福祉のまち郡山”的実現を目指してまいりたいと思いますので、地域の皆様の更なるご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



地域福祉活動者研修

令和3年2月6日(土)郡山中央公民館で「見守り活動について」をテーマに研修を実施しました。日頃の見守り活動の体験とともに、郡山コミュニティ協議会豊田節子さん、花尾コミニティ協議会谷口孝子さん、南方まちづくり協議会柳元まゆみさんの3名の方に発表していただきました。

司会に鹿児島市社協の寺原芳子地域福祉支援員をお願いし、意見交換を行いました。定期的に自宅を訪問する、支え合いマップを作成し活用する、直接訪問も大事だが、通勤時や散歩時の「ながら見守り」もいいのではないかなどの発表がありました。見守りは地域の人々が誰とでも繋がりを持つことになり、地域の人々が誰とでも挨拶し気楽に話し合える環境づくりになつていると感じました。